

こうらいじ
旧高麗寺ゆかりの神像・仏像修理
－出来！ 高来神社神像保存処理－

解説資料

令和3年（2021）4月作成

開催にあたって

大磯町郷土資料館では、高来神社から神像群をお預かりし、平成16年（2004）から令和2年（2020）まで、神像の保存処理を進めました。貴重な文化財は、どのように修理されたのでしょうか。同じく旧高麗寺に由来し、現在、慶覚院に伝来している地藏菩薩坐像と仁王立像の修理も併せて、本企画展では、神像・仏像修理の実態をお伝えします。

本企画展は、高来神社及び慶覚院ご関係の皆様にご協力いただき、開催することができました。改めて、深く感謝申し上げます。

1 高来神社木造神像群の発見

高来神社の神像群は、平成12年に偶然発見されました。当時、大磯町では町内の歴史的・文化的な価値のある建物の建築調査を行っており、その調査において、神社の御輿堂に、未調査の木像が複数存在していることがわかりました。

詳細な調査を行った結果、これらの木像は神像であり、一部の像に弘安5年（1282）の記録があったことから、鎌倉時代に製作されたものであることが判明しました。御輿堂に保管されていた経緯は不明ですが、一部の像は断片しか残っておらず、状態が良い像でも至るところに虫食いの痕が見られ、傷みが激しい状態でした。そのため、高来神社から神像群をお預かりし、保存処理を施すことになりました。

2 高来神社木造神像群

高来神社の木造神像群は、全部で11軀あり、男神、女神、僧形、随神形に大きく分けることができます。さらに、像のつくりから三つの群に分類することができます。

【第1群】



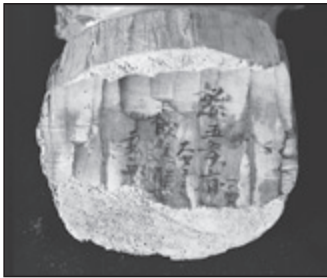
上左から、男神立像（その1）、男神立像（その2）、女神立像（その3）、女神立像（その4）、左から、僧形立像（その5）、僧形立像（その6）。いずれも一木造で、端正な彫刻が特徴。女神像は損傷が激しいが、着色も残る。男神像は袍衣を着用した上に袈裟を懸け、神仏習合の思想を表現している。同様の特徴は、伊豆山権現立像にも見られ、伊豆山権現の様式にのっとって製作された可能性もある。

【第3群】



右から、随神形立像体部（その10）、随神形立像体部（その11）。随神とは、隨身とも書き、神を守る者として祀られた像である。すなわち、隨身として武官の装束を着用している。両像とも体部しか残らず、どのような姿をしていたのかはわからない。随神像という呼称も推測である。第2群の像と同じく、寄木造である。

【第2群】



上左から、男神立像（その7）、僧形立像体部（その9）、女神像頭部残片（その8）。寄木造で、男神以外は大部分を欠損している。第1群より大型で、形態が異なる。

男神像頭部（上左）、女神像頭部（上右）には、墨書が残る。弘安5年（1282）と書かれていることから、神像群は鎌倉時代につくられたと考えられている。

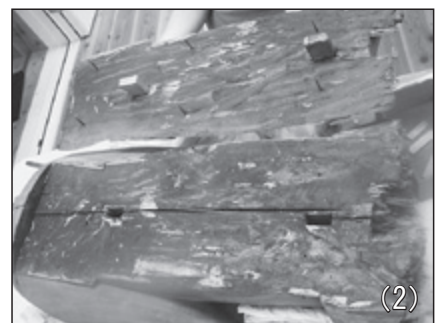
【神像の保存処理について】

全ての像に、虫喰いの痕や、素材の木が朽ちたことによる損傷があり、現状以上の損傷をとどめるための処理を行った。

- 1) 像の全体を清掃し、つなぎ目がある場合は、必要に応じて取り離す。
- 2) パラロイド（樹脂）を含浸させ、全体を強化する。
- 3) 朽ちて失われた箇所は、漆等で補強する。
- 4) 彩色がある場合は、剥落止めを行う。
- 5) つなぎ目を漆等で、接合する。
- 6) 損傷の激しい下部は、像を安定させるために、漆を充てんする。
- 7) 台座などを作成して、完成。



(1)



(2)

男神立像（その2）の修理。胴部のつなぎ目に板をかませ(1)、つなぎ目から取り離した様子(2)。

3 旧高麗寺ゆかりの仏像修理

旧高麗寺ゆかりの仏像の一部は、慶覚院に伝わっています。近年、地藏菩薩坐像と仁王立像が修理されました。

4 旧高麗寺と神像・仏像

高麗山は古くから信仰の対象となった山で、高麗寺は、高麗権現社の別当寺として、8世紀頃には創建されたと伝わります。最盛期は、高来神社の神像群がつけられた鎌倉時代と言われ、僧坊が24カ所ありました。戦国時代に戦禍に巻き込まれ、最盛期を伝える多くの記録や寺宝が失われましたが、その信仰の対象は、慶覚院に伝わった仏像や、現在の高来神社の境内からうかがい知ることができます。

【高麗寺の建物と仏像】

地藏堂：地藏菩薩坐像 仁王門：仁王立像
観音堂：千手観音立像 白山社：白山大権現立像
毘沙門塔：毘沙門天立像

※いずれの仏像も、現在は慶覚院に伝わっています。高来神社の神像群は、どの建物に祀られていたか判明していません。

【木造仁王立像の修理】



(1)修理中の吽形像。白く見える部分は、修理の際に新たに材を補った。(2)修理が終わった吽形像。古色仕上げにより、新たに補った材は、一見わからない。

■主な参考文献■

- 大磯町教育委員会編『慶覚院蔵木造地藏菩薩坐像』大磯町文化財調査報告書第48集 2010
- 神奈川県立歴史博物館編『神々と出逢う—神奈川の神道美術—』神奈川県神社庁 2006
- 大磯町編『大磯町史』6 通史編 古代・中世・近世 大磯町 2004
- 大磯町教育委員会編『慶覚院蔵木造仁王立像』大磯町文化財調査報告書第46集 2003
- 大磯町教育委員会編『高来神社蔵木造神像群』大磯町文化財調査報告書第45集 2002
- 大磯町編『大磯町史』1 資料編 古代・中世・近世(1) 大磯町 1996
- 蘆田伊人編『大日本地誌大系(15)』新編相模国風土記稿 第2巻 雄山閣 1962

■ご協力者■

本展の開催にあたり、ご提供いただきました資料や情報を活用させていただきました。記して御礼申し上げます。

(敬称略・五十音順)

慶覚院 光圓美術研究所 高来神社

大磯町郷土資料館 Oiso Municipal Museum

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯446-1

TEL 0463(61)4700 FAX 0463(61)4660

<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/oisomuseum/>